

病害虫防除技術情報第2号

平成 24 年 4 月 19 日
三重県病害虫防除所

春キャベツの菌核病の発生が多くなっています

1 対象作物 : 春キャベツ

2 対象病害虫名 : 菌核病

3 発生状況 : やや多

- 1) 巡回調査 (6 圃場) における発病株率は、2 月第 2 週では 0% (9 年平均 0.1%) でしたが、3 月第 2 週では 3.0% (年平均 0.4%)、4 月第 1~2 週では 6.0% (年平均 0.4%) と、3 月以降は年平均より多い状況が続いています (表)。
- 2) 一般圃場での発生量は、年平均よりやや多の状況です。2 月下旬~3 月上旬に曇雨天の日が多く降雨があったことと、気温が年平均より高めに推移したことなどが影響し、発生が増加したものとされます。

表. 菌核病の発生状況

調査年	発病株率		
	2 月第 2 週	3 月第 2 週	4 月第 1~2 週
本年	0%	3.0%	6.0%
9 年平均	0.1%	0.4%	0.4%

※各圃場 50 株を調査。

※9 年平均は過去 10 年間 (平成 14~23 年) の平均値。

4 防除上の注意事項

- 1) 発病株は周辺株の伝染源となります。また、菌核が形成されると、土壌中に残って次作の伝染源となります。発病株は発見次第抜き取り、圃場から持ち出して適切に処分してください。
- 2) 病原菌は葉柄基部付近から感染します。薬剤は株元へ十分かかるよう散布してください。
- 3) 降雨は発病を助長するため、雨が続きと予想される場合は、予防的に薬剤を散布します。
- 4) 薬剤散布の際は、薬剤抵抗性が発達しないよう、同一薬剤や同一系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行ってください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。